

令和6年度職員採用試験（大学卒業程度）
早期枠 総合土木 専門記述試験（6.4.21）

次の2つの課題のうち、いずれか1つの課題について答えなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○ 大規模災害に備えたハード・ソフト両面からの防災・減災対策について

令和6年1月に発生した最大震度7の能登半島地震では、多くの人的・住家被害に加え、道路、河川、港湾施設など公共土木施設にも甚大な被害が発生しました。本県においても、南海トラフ巨大地震の発生が懸念されている中、対策を進めることが急務となっています。

また、本県では、平成30年7月豪雨において、県内全域で土砂災害や河川の氾濫等が多数発生し、多くの人的・住家被害のほか、道路や鉄道の寸断、広範囲にわたる水道の断水など、県民生活や経済活動の基盤となるインフラにも多大な被害が生じたため、防災・減災対策を加速しているところです。

そこで、巨大地震や、気候変動により激甚化・頻発化する豪雨等の様々な自然災害から県民の安全・安心な暮らしを確保するため、防災・減災に係る課題を挙げ、大規模災害に備えた県が行うべきハード・ソフト両面からの防災・減災対策について、本県の土木技術者としてあなたの考えを具体的に述べなさい。

= 課 題 2 =

○ 新たな視点による農地の基盤整備について

本県では、担い手の経営の将来像や発展段階を踏まえ、農地の大区画化や排水性の向上など、目指す姿の実現や収益性の向上に必要な基盤整備を推進しているところです。

しかしながら、今後、農業従事者の減少や高齢化に伴い、優良農地の確保や農作業の効率化、管理の省力化が重要な課題となっています。

そこで、これらの課題の解決に向け、新たな視点による農地の基盤整備に取り組む必要があると考えますが、県としてどのような取組をしていくべきか、あなたの考えを具体的に述べなさい。